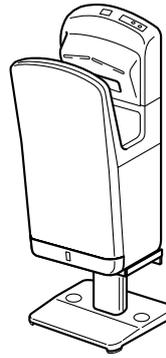


## ジェットタオル® スタンド

形名

JP-S21FS-H

## 据付工事説明書



販売店・工事店さま用

このジェットタオルスタンドは、ジェットタオル（JT-SB116GN・JT-SB216GSN）の専用スタンドです。

据付工事を始める前にこの据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付工事は販売店さま、または工事店さまが実施してください。

このジェットタオルスタンドをご使用の場合は、ジェットタオル本体同梱の取付板は使用しません。

## 安全のために必ず守ること



### 警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



風呂シャワー室での使用禁止

- 浴室など湿気が多い場所や結露する場所では使用しない

感電・故障の原因になります。



水かけ禁止

- 水のかかる場所には設置しない

感電・故障の原因になります。



指示に従う

- 本体とスタンドは、付属のネジで確実に固定し、スタンドは必ず壁面あるいは床面に、付属のネジまたはボルトを用いて固定する

倒れてけがをするおそれがあります。

## 据付け前のお願い

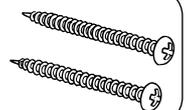
- ジェットタオルスタンドの固定方法は①壁固定、②床固定の2通りがあります。誤った据付けをすると死亡や重傷などに結びつく可能性があります。状況にあった方法を選択して確実に固定してください。

## 各部のなまえと個数

■下表の部品は固定方法により使用するものと、しないものがあります。

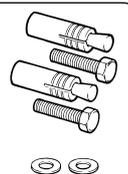
### 1 壁固定のとき

壁固定用ネジ……………2本  
(トラス1種5×30)



### 2 床固定のとき

床固定用ボルト (M8×30)  
アンカー (長さ50mm)  
ワッシャー……………各2個



スタンド……………1組 	本体固定用ネジ……………4本 (トラス2種4×16) 
	高さ調整用ゴム板…2枚 
	キャップ……………2個 

# 据付方法

## 固定する壁、床の条件

### 良い例

- ①20mm以上のコンクリートの壁
- ②厚さ20mm以上の木製の壁又は、ネジ固定部に20mm以上の支柱のある木製の壁
- ③表面がタイル、リノリウムでその下に20mm以上のコンクリートや木がある壁
- ④厚さ40mm以上のコンクリートの床

### 悪い例

- ①プラスターボード
- ②厚さ20mm未満の木製の壁
- ③土壁
- ④中が空洞もしくは断熱材
- ⑤厚さ40mm未満のコンクリートの床

### お願い

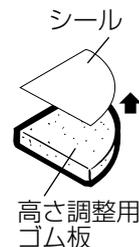
- 床固定の場合は床面におうとつがなく水平なことを確認してください。
- 背面にガラスがある場合は設置しないでください。
- スタンドを床固定する場合、ジェットタオルを壁面に沿って設置する様にしてください。  
(据付方法の4 - **2 床固定方法** を参照してください)

## スタンドの水平調節

1.アジャスターの高さAが10mmとなるように調整し、スタンドを設置場所へ移動する。

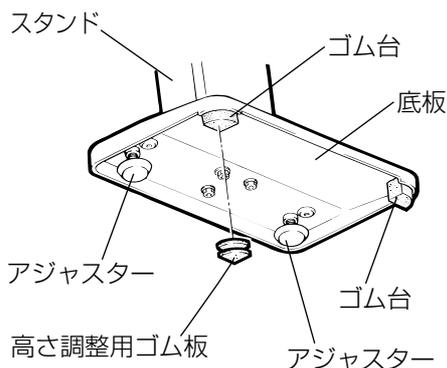
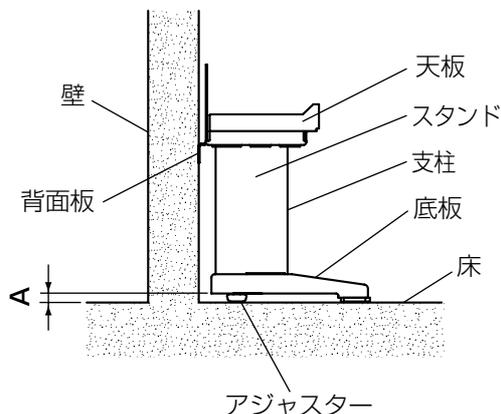
2.アジャスターを回してスタンド天板の背面が壁面と平行で、がたつきのないように調整する。

- このときスタンドを正面からみて左右に傾いている場合は、付属の高さ調整用ゴム板のシールをはがしてゴム台に貼り付けてから再度アジャスターを調整してください。



### お願い

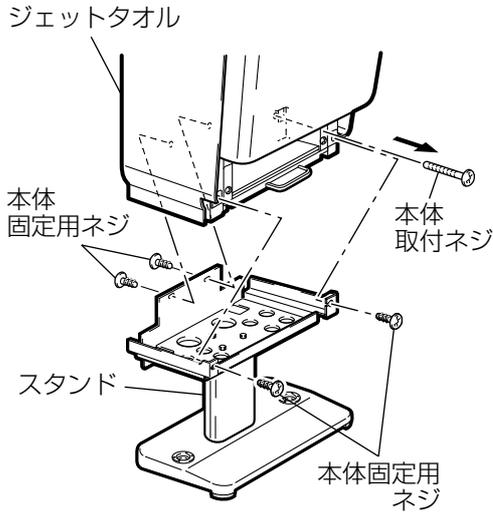
- アジャスターの高さAは13mm以下としてください。  
(倒れてけがをするおそれがあります)



1

2

# 3



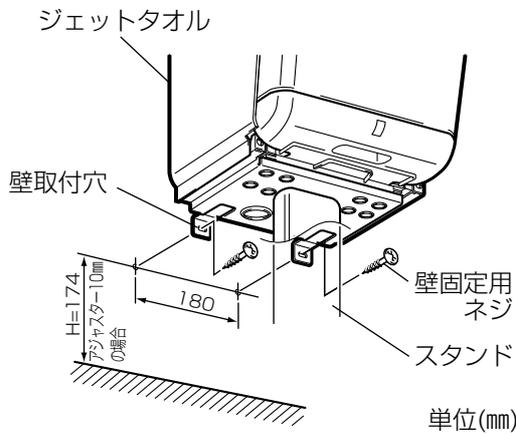
## ジェットタオルとスタンドの固定

1. ジェットタオルのドレンタンクを抜いて奥にある本体取付ネジを背面から押し出して、取りはずす。
2. ジェットタオルをスタンドの上に乗せる。
3. 付属の本体固定用ネジ4本でジェットタオルを固定する。

### お願い

- 本体取付ネジを必ずはずしてください。  
(ジェットタオルを運転したとき、金属音が発生するおそれがあります)
- 本体固定用ネジは強く締めすぎますと、本体のネジ穴を破損するおそれがありますので、過剰に締めすぎないように注意してください。(適切トルク：約0.78N・m)

## 1 壁固定方法



## スタンドの固定

付属の壁固定用ネジ2本でスタンドの壁取付穴(2か所)を使用して壁に固定する。

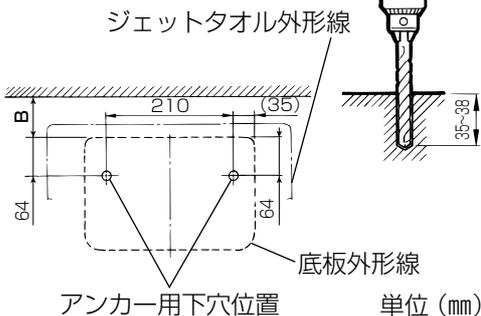
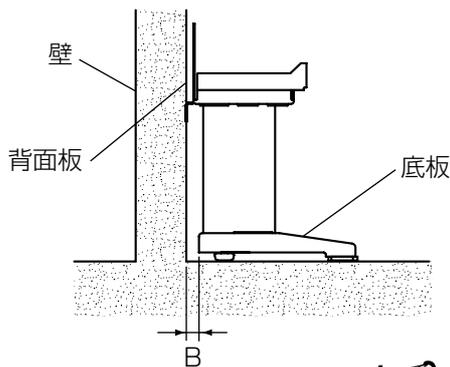
- アジャスターの調整具合により高さ寸法Hは変化しますので必ず固定する前に確認してください。

### お願い

- コンクリート壁に固定する場合は適切な長さの市販の金属製プラグ(カールプラグ等)を使用して固定してください。

## 2 床固定方法

……壁固定ができない場合



1. 本体設置位置に合わせて床固定位置を決め、その位置にφ12.5mm、有効深さ35~38mmの下穴をあける。

付属のアンカーを確実に打ち込む。

- アンカー埋込位置が不適切の場合ジェットタオル背面と壁面とが平行になりません。

### お願い

- 床面にあけるアンカー用下穴の深さは必ず所定の深さとしてください。  
(確実な固定ができず、倒れてけがをするおそれがあります)

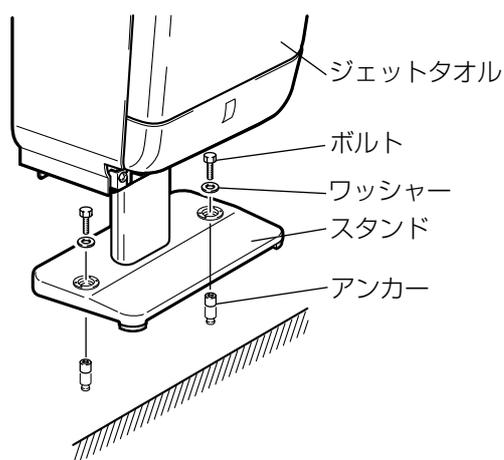
背面からスタンド底板までの距離はスタンドの背面板が壁面に沿うように設定してください。

# 4

# 据付方法 つづき

4

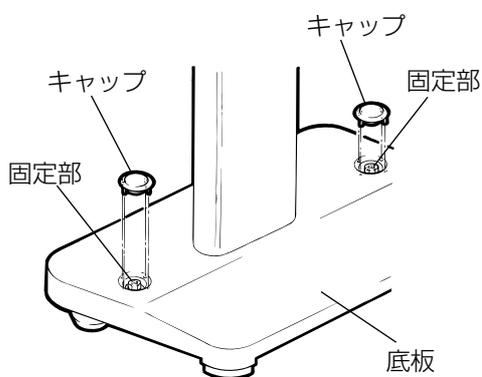
## 2 床固定方法 つづき



2. ジェットタオルおよびスタンドを設置位置に移動し、付属の床固定用ボルト・ワッシャーで確実に固定する。

- 強く締めすぎますと底板が変形するおそれがありますので、過剰に締めすぎないように注意してください。  
(適切トルク：約13.2N・m)

5



底板の固定部（2か所）に付属のキャップをはめ込む。

据付け後、傾きやがたつきがないか確認してください。